

名 取 北 高 校 だ よ り



名北の風

令和元年度第4号(2019/7/19 発行)

跳び・綱引きの3種目)で行われました。運動会の部は雨のため体育館で行われましたが、生徒は精一杯楽しみました。

みんな元気に体育祭に取り組みました

6月29日(木)・30日(金)の2日間、体育祭が開催されました。各クラスで作成した、カラフルなTシャツ姿でクラス優勝を目指し、元気いっぱいに汗を流して取り組みました。体育祭は球技大会の部(バレーボール・バスケットボール・サッカー・卓球の4種目)と運動会の部(二人三脚リレー・縦割り長縄



体育祭を開催して

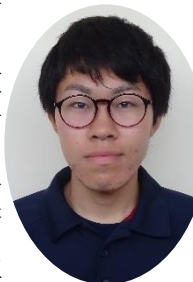
体育委員長 樋口雅登(3年・郡山中出身)

皆様、体育祭を楽しんでいただけましたか? 私たち体育委員会は、皆様が楽しむことができる体育祭を各部活動の協力により、開催することができました。私は委員長という重大な役割を任されて人をまとめることの難しさを感じました。しかし、貴重な体験ができたことで自分なりに頑張ったという証を残すことができました。今年は運動会の部を雨のため体育館で開催することとなりましたが、皆様がしっかりと指示を聞いて行動していただけたのでスムーズに進行ができました。3年生にとってはこれが最後の体育祭となりますが、1・2年生は来年に向けて改善点を見だし、ますます楽しいイベントとして作り上げて欲しいと思います。皆様ご協力ありがとうございました。



生徒会長としての抱負

生徒会長 小関嵩士
(2年・玉浦中出身)



六月二十六日(水)に行われた生徒会長選挙では多くのご支援ありがとうございました。生徒の皆様、先生方の期待に応え、よりよい学校づくりのために全力を尽くして参ります。私は早速、生徒会執行部を立ち上げ、二つのことを大きな目標として取り組みで参ります。一つめは、生徒の皆様が積極的に、自発的に活動できるように、目標のより幅広い活用を考えています。生徒の皆様から忌憚らないご意見をいただき、たいに二つめは、自分の考えを表現する力を育むという目的で、プレゼンテーションコンテストや弁論大会、人前で話す機会を行事として数多く設けたいとも考えております。生徒の皆様と共に、よりよい名取北高等学校を目指して参ります。ご協力よろしくお願い致します。

サンフランシスコ日本語補習校 サンノゼ校が来校しました

7月8日(月)にサンフランシスコ日本語補習校サンノゼ校が来校し、午前中は本校生徒と共に授業を受け午後は生徒会と英語研究部との交流会を行い、放課後はソフトボール部と対抗戦を行いました。



サンノゼ校を迎えて

英語研究部 吉野優太(3年・名取一中出身)

サンフランシスコ日本語補習校サンノゼ校との交流会に参加しました。この行事は国際交流を目的として毎年行われているもので、当日は私たち英語研究部と生徒会、サンノゼ校の方々と交えての活動となりました。例年は折り紙や七夕飾り作成等が中心でしたが、今年は会話を中心とする交流を行いました。やはり、文化や環境の違いがあり話す内容は新鮮で興味深いものがありました。



1時間弱の交流会でしたがとても価値のあるものとなりました。サンノゼ校の皆様ご来校いただきありがとうございました。

なとりこどもファンドに参加しました

7月7日(日)に奉仕活動部と生徒会が「なとりこどもファンド」に参加し名取市を活性化する取り組みを披露しました。審査の結果どちらの取り組みも評価され、採用されることとなりました。ご招待いただきました名取市の皆様、審査いただきました皆様ありがとうございました。



なとりこどもファンドに参加して

奉仕活動部 曾根遥(3年・亘理中出身)

名取市文化会館で「なとりこどもファンド公開審査会」が行われ、小学生から高校生までの全12団体が参加しました。奉仕活動部は「なとり令和『夢』かるた」の作成について発表し、一番高い評価をいただきました。審査会では、子供から大人まで幅広い年代が交流したことにより考えが深まることや、気づかされることが多くありました。会場全体に共通することは名取市をよりよくしたいという気持ちの表れでした。この取り組みで名取市がより発展していくことを確信すると共に、自分たちにできることを今後も続けていこうと思いました。



今月は北高生がボランティアでお世話になっている、名取市デイサービスセンター青松苑・光松苑の岸早苗様をインタビューしました。岸様は柴田町のご出身で、福祉の現場に携わり二十年になります。

生活相談員・介護員 岸 早苗 様

Q 今のお仕事を選んだ理由は？

A もともと人と関わるのが好きで、小学校の先生を目指していたのですが、当時通っていた柴田高校で進路指導の先生に、「これから福祉の仕事が重要視されるぞ」という言葉をきっかけに介護福祉の専門学校に通い、介護福祉士の資格を取得しました。

Q 今のお仕事の楽しさや魅力は？

A デイサービスのご利用者様は50代から90代と様々な年代の方がおられます。皆様、年は重ねてもとても元気です。最高齢九十九歳の方も休まずに通われ、しつかりご自分で歩き、体操やレクリエーションに積極的に参加されています。毎日、ご利用者様と接する中でたくさんの方々の笑顔とパワーをいただいております。また、デイサービスでは様々な職種の職員がおります。ご利用者様に楽しいひとときを過ごしていただけるようチーム一丸となって取り組み、喜んでいただけた時はとても嬉しい気持ちになります。

Q 今のお仕事の意義は？

A ご利用者様がデイサービスに通うことで、心身共に元気になり、ご自宅での生活が長く維持できるように支援させていただければと思っています。そして、ご利用者様が健康を維持することで日々介護されているご家族様の負担も軽減し、より快適な生活が送れるのではないかと思います。

Q 日頃から心がけていることは？

A 元気に明るく笑顔で過ごすことです。また、常に相手の立場になって物事を考えるようにしています。

Q これから取り組みたいことや目標は？

A 福祉の現場では人手不足の問題や介護の質の向上等、様々な課題を抱えています。その中で、これからの福祉を支えていく担い手として若い方々の力が大きくなりますので、人材育成や福祉に興味を持っていただきたいてるような開かれたデイサービスにしていきたいことが目標です。

Q 北高生の印象は？

A 年に数回デイサービスのボランティアを引き受けていただき、感謝しております。元気で優しく思いやりのある方々だと感じております。

Q 本校生にメッセージを！

A 高校生活の三年間で、友達と青春を謳歌し、部活に情熱を燃やし、勉強に励み、そして恋に・中・やることにたくさんありますね。一日一日を大事に・身の濃い・高・校生活を送ってください。人と人との関わりを大事に、皆さんの今後の活躍を願っております。



看護医療系ガイダンスを開催しました

7月10日(水)に看護医療系の上級学校及び医療関係機関の方から仕事の内容や適性を聞く会として看護医療系ガイダンスを開催しました。講師の先生方ありがとうございました。

看護医療系ガイダンスに参加して

大友結萌 (2年・増田中出身)

私は、心理学を学びたいと思っていたので、「臨床心理士/公認審理士」の分科会に参加しました。心理学といっても、その分野は幅広く、分野によってとるべき資格が違ふということが分かりました。また、資格は一度取得してしまえば終わりというわけではなく、定期的に更新が必要なものもありますし、何より常に最新の知識を学び続けることが大切だということを教わりました。今回のガイダンスを通して、興味のある学問分野への理解が深まり、進路目標がより明確に定まりました。ご指導いただきました皆様ありがとうございました。



校内ビブリオバトルを開催しました

6月24日(月)にビブリオバトル校内予選会を開催しました。小野寺健 (1年・郡山中出身) と古山咲愛 (1年・関上小中出身) が県大会に出場することになりました。

ビブリオバトルに参加して

古山咲愛 (1年・関上小中出身)

初めてビブリオバトルに参加しました。ビブリオバトルに向けて準備していく中でどう文章を作ったら良いのか、ディスカッションでどんな質問が来るのかなど不安でしたが、本番では、グループのメンバーに本の魅力を伝えることができました。私が紹介した本は、伊坂幸太郎さんの「火星に住むつもりかい？」という本です。この本は、警察側の歪んだ「正義」と、それに対する市民側から「正義の味方」が立ち上がり、対立していくお話です。私自身、伊坂幸太郎さんが大好きなのでとても楽しかったです。このような場で発表できたことに感謝します。



母校への感謝の気持ちを込めて

奉仕活動部 結城美夢 (3年・富沢中出身)

6月1日(土)、私たち奉仕活動部は「自分たちの母校をこれからも綺麗に保っていこう」という思いを掲げ、校地内の清掃活動に取り組みました。技師の奥田様にご指導いただきながら、主にグレーチングの下に溜まった土やテニスコート脇の排水路に蓄積された泥を取り除く作業を行いました。かなりの力仕事でしたが、部員全員が手を休めることなく完全に綺麗になるまで作業を続けました。土に触れる機会がほとんど無い部員が多かったので、久しぶりに見た花や虫の懐かしいエピソードを話す場面も見られました。この清掃活動をとおして、私たちは、母校への感謝を伝えると共に、部員のチームワークを深めることができました。これからも「感謝」の気持ちを持って様々な活動に全力で取り組んで参ります。ご指導くださいました奥田様、ありがとうございました。

